

設計課題 「家族のライフステージの変化に対応できる三世代住宅(木造2階建て)」

1. 設計条件

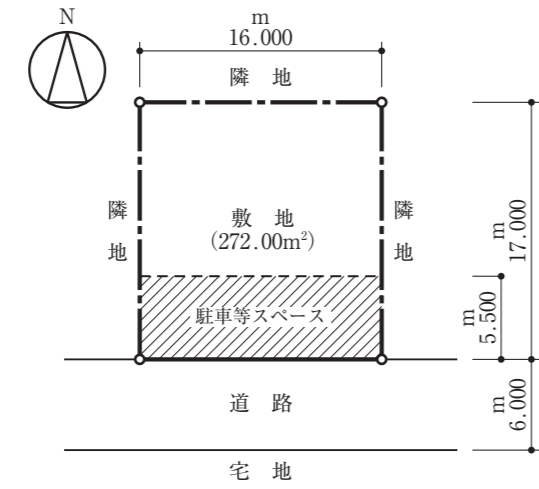
ある地方都市の住宅地において、祖母との同居を機に家を建て替えるにあたり、家族のライフステージの変化に対応できる三世代住宅を計画する。

- 計画に当たっては、次の①～③に特に留意する。
①足に障害がある祖母が将来、屋外で車椅子を利用する可能性を踏まえ、道路から玄関へのアプローチには玄関ポーチまで屋外スロープを計画する。
②居間・食事室・台所は、三世代が集まって歓談できる場とする。
③床高等については、下表のとおりとする。

Table with 2 columns: 1階部分の各要求室(玄関ホールの土間部分を除く。)の床高(地盤面からの高さ) and 500mm, etc.

(1) 敷地

- ア. 形状、道路との関係、方位等は、右図のとおりである。
イ. 第一種住居地域内にあり、防火・準防火地域の指定はない。
ウ. 建ぺい率の限度は60%、容積率の限度は200%である。
エ. 地形は平坦で、道路及び隣地との高低差はなく、地盤は良好である。
オ. 電気、都市ガス、上水道及び公下水道は完備している。



(注) 斜線部分は駐車、駐輪、通路、屋外スロープ、屋外テラス、植栽等のスペースとし、建築物は計画してはならない。

敷地図 (縮尺: 1/500)

(2) 構造、階数、建築物の高さ等

- ア. 建築物の耐震性に配慮する。
イ. 木造2階建てとする。
ウ. 建築物の最高の高さは10m以下、かつ、軒の高さは7m以下とする。

(3) 延べ面積

必ず「170㎡以上、210㎡以下」とする。(床面積については、ピロティ、玄関ポーチ、屋外テラス、屋外スロープ、駐車スペース、駐輪スペース等は算入しないものとする。)

(4) 家族構成

夫婦(50歳代)、子ども2人(女子大学生、男子高校生)、祖母(70歳代、妻の母)

(5) 要求室等

下表の全ての室等は、必ず指定された設置階に計画する。

Table with columns: 設置階, 室名等, 特記事項, 床面積. Lists rooms like 玄関, 居間・食事室・台所, 祖母室, etc.

(6) 屋外施設等

屋外に下表のものを計画する。

Table with 2 columns: 屋外施設, 特記事項. Lists 屋外テラス, 屋外スロープ, 駐車スペース, 駐輪スペース.

2. 要求図書

- ア. 下表により、答案用紙の定められた枠内に記入する(寸法線は、枠外にはみだして記入してもよい)。
イ. 図面は黒鉛筆仕上げとする(定規を用いなくてもよい)。
ウ. 記入寸法の単位は、mmとする。なお、答案用紙の1目盛は、455mm(部分詳細図(断面)にあつては、10mm)である。
エ. シックハウス対策のための機械換気設備等は、記入しなくてもよいものとする。

Table with 2 columns: 要求図書( )内は縮尺, 特記事項. Lists drawing requirements for floor plans, sections, elevations, and area tables.

下書欄 (目盛4.55mm)

Large grid area for drawing and writing answers.

Registration information fields: 会員番号, 氏名, 受験地.